

『 有機農業で未来を拓く — 身土不二（地元のものを食べて健康に） で自然と共に生きよう — 』

2019年10月23日（水）午前10時30分～12時

國學院大學 名誉教授 大崎 正治さん

有機農業やオーガニックという言葉がすっかり生活にとけこんでいますが、

Q. 有機農業とはいったいどんな農業なのでしょう？

A. 土のなかの腐植や有機物を吸収して育つ農作物をつくることです。それによって健康上安全でおいしい食べものを供給します。

Q. 有機農業で未来が拓けますか？

A. 18世紀の産業革命以来200年にわたる技術の発展によって、人々はより多くの工業製品と農産物を享受しましたが、その裏で自然と人間の命や健康が損なわれました。「成長こそが人間が幸福に至る途」という誤った経済信仰をただすために、現状の農業の在りかたを考え直して、新しい生き方を探ります。

私たちが日ごろ食している野菜や果物は、思いのほか深淵な世界を背負っているようです。食は命です。国がめざしている大型化ではなく、小規模農業とその生産者を支える消費者がつながり、未来を拓こうというお話です。

大崎 正治(おおさき まさはる) 元國學院大學教授 経済学
農業問題、食料問題、エネルギー収支、水問題をとらえて「大崎経済学」ともいえる独自の経済学をうちたてた。小論「小国寡民—有機農湯から見える世界」で有機農業論を述べている。1977年、金子美登さんに感銘をうけ現地に移住し、有機農業（自給）を実践している。

●会場：神戸学生青年センターホール

（阪急六甲下車徒歩3分、JR六甲道下車徒歩15分）

●参加費：600円 ※託児（無料）があります。

必要な方は前々日までに予約してください。

●主催：（公財）神戸学生青年センター

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

ホームページ <http://ksyc.jp>

e-mail info@ksyc.jp

